

神奈川県との継続協議において、神奈川県介護支援専門員協会として以下の要望を行った。

○ 法定研修費用の助成

ケアマネジャーの処遇や負担感の軽減を図るために、法定研修費用に対し、助成する制度を導入して欲しい。現在の制度では、ケアマネジャーは自費で研修を受ける場合もあり、経済的な負担も大きい。この負担を軽減することで、ケアマネジャーの継続的な学びを支え、質の高いサービス提供を促進することができる。

このほか、以下の事項で課題共有・意見交換を行った。

- ・ 厚労省の「ケアマネジメントに係る諸課題に関する検討会」の動向
- ・ 他県や県内の動向
- ・ 若い世代の介護支援専門員を増やすためのインセンティブ制度の導入や、子育て世代が働きやすい環境の整備
- ・ 長期的なキャリアパスを描けるような給与や待遇への支援
- ・ 保険者提出書類などの業務負担を軽減するための ICT 化の推進
- ・ 業務外の協力を要請する他機関に対する介護支援専門員の業務内容の周知
- ・ 介護職の処遇改善加算の影響や訪問介護不足などの介護業界全体での課題

これらの事項や課題については、今後も継続して検討を行い、神奈川県と協会が一体となって取り組むことで、地域全体の介護サービスの質の向上に寄与したいと考えている。